

大路農泊推進情報

令和4年6月22日

第42号

一般社団法人みつおおじ

【5月20日(金)に「北近畿交流民泊会議」に参加しました！】

みつおおじから定期的に行われている「北近畿交流民泊会議」に5月20日(金)参加させていただきました。

午後3時から5時までは現地組(綾部市、みつおおじも綾部で参加)とzoomでの参加の下記の22名による会議でした。

参加者の府県市名は、

●綾部市、●豊岡市、●京丹後市、●丹波市、●福知山市、●朝来市、●京丹波町・南丹市・亀岡市、●養父市、●京都府・兵庫県・福井県(北近畿広域観光連盟)、●城陽市、●株)ケイズドア、●舞鶴市、●兵庫県 兵庫陶芸美術館総務課長のメンバーでした。

20時からはアルコールも入りながらの2部で、さらに詳しく悩みや問題点の話に盛り上がり、それぞれの地域の特性に応じた盛り上げる方策に苦慮されていることがわかり、仲間意識が高まり有意義な時間でした。

京都府北部地域は以前より教育民泊(国内の小・中・高や海外の子供たち)に力を入れられています。

次回(豊岡市)も楽しみにしています。



【5月22日(日)に第3回大路ファーマーズマーケットを開催しました！】



5月22日「第3回大路ファーマーズマーケット」は中山公民館で行い、皆さまにはお忙しいところお越しいただきありがとうございました。

開店は10時でしたが、前回売り切れで食べられなかったみなさんが早い目にお越しいただきました。

その後も順調にお越しいただいて12時半過ぎには用意していたピザ70枚は完売しました。

＊テーブルフラワーは、オープンガーデン開催中のお庭から。

薔薇とラベンダーの香りがすてきでした。

また、玄関先には野菜の販売も行いました。中山地区で野菜を作られている方たちにご協力をいただいて、サニーレタス、

スナップエンドウ、サンチエ、キャベツ、リーフレタス等を提供していただき、すべて完売できました。

小さなコミュニティが元気に動いてる大路地区。

これはとても大切なこと。すてきなこと。

そんないい1日でした。



【6月4日(土)に11日のランチ会に向けた試作品づくりを行いました！】

6月11日(土)に行うランチ会を松森の中国出身 齋藤さんの奥さんとお友達にお願いしましたら、そんな多くの方に調理したことがないという事で、6月4日(土)に中華料理の試作品づくりを女性スタッフ3人に教えてもらいながら小籠包とスープを10人分ほど作ってもらいました。

神戸などの中華街で食べる中華料理ではなく、齋藤さんが西安にいた子供のころ食べられていた昔の家庭料理の作り方で作っていただきました。

【6月11日(土)に「カフェみつおおじ」と「ホタル観賞会」を行いました！】

今回のイベントは欲張って4部構成で行いました。

第1部は、ランチ会。11:30~

松森地区の中国生まれの齋藤さんの奥さんに中国の家庭料理（小籠包とトマトと玉子の中華スープを、地元女性スタッフ5名に教えていただきながら、みなさんに味わっていただきました。

準備していました40名様分は完売。今日のお客様は大路以外から12名。28名は大路の方でした。大路以外の12名は神戸市、宝塚市、明石市等から農業体験に来ていただいていた方からの参加でした。

みなさんの感想は全員「おいしかった」。今後「中国料理教室」もやってほしいとの要望もありました。本場の中国の家庭料理の手作りの味を堪能され満足されていました。



第2部はあぜ道散歩。14:00~

みなさんよくご存じのマリオさんに畔に生えている植物と遊び方を教えてもらいました。

参加人数は13名。子供たちも多かったのですが、大人の方が大満足で楽しく勉強になる事ばかりでした。

2部から3部まで時間があるので8名の方でマリオさんの家に行きました。16:30~
みなさん初対面同士ですが田舎暮らしの魅力について語り合いました。時間が足りません。

第3部は無鹿リゾートでホタルの勉強会。18:00~

16名（大路7名、大路以外9名）

ホタル博士で下三井庄の畑義一さん（大路自治協副会長）にプレゼンで1時間余りホタルの生態について教えてもらいました。

なぜホタルは光るのか？、オスとメスの違い、1年間かけて成虫になる様子、よく飛ぶ時間帯、ホタル観賞のルール等を学びました。



第4部は実際に三井庄川へ行きホタル観賞会。20:00~ 16名。

ようやく暗くなってきて、雨も何とか降らず、絶好のホタル観賞となりました。

特に京阪神から来ておられる方々は、あまりのホタルの数に驚かされていました。

年配の方の中にはむかし子供のころに見た事を思い出したと言われていました。

21:00前に終了し解散となりました。

今日のイベントは大路地区のみなさんには互いのコミュニケーションが図られ地元のすばらしさを再認識していただいたと思います。

一方、京阪神のみなさまには大路の魅力あふれる自然を満喫され大路ファンになっていただき、いずれ大路に移住していただけるようになってほしいと願っています。

参加していただいた方、またお手伝いしていただいた方に感謝申し上げます。